

国語(問題用紙)

【一】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(本文省略)

(諏訪哲二『なぜ勉強させるのか？教育再生を根本から考える』の文章による)

- 問一 傍線部ア～エのカタカナを漢字に直しなさい。
問二 空欄A～Cに入る最も適当な言葉を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。
ア もし イ しかし ウ したがって エ かえって
問三 二重傍線部「ありのまま」と置き換えられる語を、文中より五字で抜き出しなさい。
問四 傍線部①を文節に区切り、その数を漢数字で答えなさい。
問五 傍線部②とありますが、そう言えるのはなぜですか。文中から二十字以内で抜き出しなさい。
問六 傍線部③とありますが、なぜですか。二十字以内で答えなさい。
問七 筆者は本文で「勉強」の必要性を説いていますが、1「勉強する前の自分」と2「勉強した後の自分」をそれぞれ二十字程度で説明しなさい。ただし、どちらにも「ありのまま」という言葉を必ず用いること。
問八 勉強することとはどうすることですか。本文に即して五十字以内で説明しなさい。
問九 傍線部「可」の三画目の筆使いとして正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 縦画 イ 横画 ウ 折れ エ 払い

国語(問題用紙)

【二】次の文章はサイトウアカリの小説『犬と私の10の約束』の一節である。外科医として多忙な毎日を送る父であったが、優しい母の存在が、あかりに寂しさなど感じさせず、のびのびとした日常を過ごしている。次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(本文省略)

国語(問題用紙)

- 問一 傍線部ア～エの読みをひらがなで書きなさい。
問二 傍線部①には、人間でないものを、まるで人間かのように表現する技法が用いられています。この表現技法を何とか漢字で答えなさい。
問三 傍線部②とありますが、具体的にどのような予感ですか。三十字以内で答えなさい。
問四 傍線部③とありますが、なぜ「がっかり」したのですか。四十五字以内で説明しなさい。
問五 傍線部④とありますが、どのような朝のことですか。解答欄にあうように、本文中から六字で抜き出しなさい。
問六 傍線部⑤「ふと」が修飾する語を一文節で抜き出しなさい。
問七 傍線部⑥とありますが、こう言った母の意図を五十字以内で説明しなさい。
問八 傍線部「後悔」と同じ構成の熟語を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 愛憎 イ 予感 ウ 潜水 エ 国立

【三】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

福井は三里ばかりなれば、夕飯したためて出るに、たそがれの道^Aだどし。ここに等^{とう}裁^{さい}といふ古き隠^{いん}士^しあり。いづれの年にや、江戸に來りて予^よを尋^{たず}ぬ。はるか十とせ余りなり。いかに老いさらばひてあるにやと、人に尋^{たず}ね侍^{はべ}れば、「いまだ存^{ぞん}命^{めい}して、そこそこ」と教^しゆ。市中ひそかに引き入りて、あやしアの小家^{けい}にゆふがほ・へちまの^Bはえかかりて、鶏^{けい}頭^{とう}・ははき木^きに戸^とぼそをかくす。「さてはこのうちにこそ」と門^{かど}をたたけば、わびしげなる女^{おんな}の出^いでて、いづくよりわたりたまふ道^{みち}心の御^ご坊^{ぼう}にや。あるじは、このあたり何^{なに}某^{がし}といふもの^Dの方^{かた}に行^いきぬ。もし、用^{もち}あらば、尋^{たず}ねたまへと言^いふ。かれが妻^{つま}なるべしとしらる。むかし物^{もの}がたりにこそかか^かる風^{ふう}情^{せい}は侍^{はべ}れと、やがて尋^{たず}ねあひて、その家に二夜とまりて、名^な月はつるがの湊^{みなと}にと旅^{たび}だつ。等^{とう}裁^{さい}も共に送^{おく}らんと、裾^{すそ}おかしうからげて、道^{みち}の枝^え折^{をり}とうかれ立つ。

(『おくのほそ道』の文章による)

【語注】たそがれ…日暮れ

隠士…俗世間との関わりを避けた人

市中ひそかに引き入りて…町中からひっこんだひっそりとしたところ

鶏頭・ははき木…鶏頭は高さ三十〜九十センチメートル、ははき木は高さ一メートルほどの、どちらも一年草

戸ぼそ…入り口

枝折…案内

問一 傍線部ア・イを現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

問二 傍線部①・②の現代語訳として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

① ア はつきりしない
イ 恐ろしい

エウ 気があせる
エ もの寂しい

ア 新しい小さな家

イ みすばらしい小さな家

②

エウ 風情のある小さな家
立派な作りの小さな家

問三 傍線部③の主語として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 等裁 イ 予 ウ ある人 エ 女 オ 何某という者

問四 傍線部④と同じ用法の「の」を二重傍線部A、Dの中から一つ選び、記号で答えなさい。

問五 文中の会話で「 」がついていない部分を探し、初めと終わりの四字ずつ抜き出さなさい。

問六 等裁と作者の間柄を明らかにして、作者が等裁を尋ねた理由を五十文字以内で説明しなさい。

問七 波線部「むかし物がたり」とは『源氏物語』のことである。作者名を漢字で書きなさい。